おかやまの未来について大学生世代の声をかたちにしていくラボ
～歩きたくなる風景を募集して岡山市中心市街地を活性化する～

お世話になった連携先団体など

- 岡山情報文化研究所　＊伊藤専務理事、神田上席研究員（当時）
- 岡山商工会議所

ラボで解決に取り組んだ課題

- 大学生世代、成人全体がそれぞれ中心市街地に求めることは何か、

  両者の共通点と違いを調査した。
- 大学生世代は、中心市街地の未来に対して、緑化を求めているのではなく、

  「歩きたくなる風景」を楽しむ体験を求めているのではないか？という問題意識を持った。

活動のあらましについて

〈春学期〉

- 担当教員から、地域についての考え方・見方を学び、神田様からは「マーケティング・リサーチ」の体系と手法を学んだ。
- フィールドワークでは、事前にゼミ内で仮説内容の実現を目指す具体的な場所をそれぞれ考え、実際に岡山市中心市街地の現状を知るために視察に訪れた。

〈秋学期〉

- 伊藤様から「アウトプット」の現場について学んだ。
- 伊藤様、神田様からのご助言をもとにアンケートの作成を行い、学生に対してはGoogle form、成人全体に対してはVinsight（岡山情報文化研究所のアンケートモニターサイト）を利用し調査を行った。
- 調査結果から考えた案の実現性を確かめるために、グランフロント大阪や大阪駅での視察を行った。

1年間の活動の総括・成果について

岡山商工会議所第２回まちづくり・都市交通委員会（今年2月28日）に横山ゼミ・渡邊ゼミとともに参加し、当ゼミでは「歩きたくなる風景を募集して岡山市中心市街地を活性化する」を発表した。

担当教員：宮脇靖典　所属学生６名、
ポスター制作　**内田陽奈子、白旗諒、光川愛純**、森永篤輝、吉村 晃一郎、吉和巧雄

おかやまの未来について大学生世代の声をかたちにしていくラボ
～岡山市におけるハレまち通り情報発信戦略～

お世話になった連携先団体など

- 協同組合岡山情報文化研究所　・岡山市役所 街なかにぎわい推進係
- 倉敷ジャズストリート　・ テレビ新広島
- 電通

ラボで解決に取り組んだ課題

SNSの活用が不十分なため、岡山市内のイベント情報が若者に届いていない。これを解決するための具体的戦略を構築することを課題としました。

活動のあらましについて

・岡山市へのヒアリングしたことで、岡山駅周辺のにぎわいを表町や旧城下町エリアにも拡大するためには岡山市ハレまち通りの活性化が必要であることがわかりました。
・「倉敷ジャズストリート2022」でボランティア活動に参加したことで、地域内コミュニケーションの重要性がわかりました。
・大学生世代では114人、30歳以上65歳以下では430人にアンケートをとった結果、大学生世代ではSNS、30歳以上65歳以下はテレビなどターゲットの世代ごとにメディアを使い分けるべきだと考えました。
・電通、テレビ新広島などメディアにヒアリングすることで、SDGs推進の重要性を認識しました。

【発信したくなるようなお店や街並みの展開】
→『岡山市ハレまち通りの活性化～若者への周知とSDGsイベントの実施～』
ハレまち通りに発信したくなる店、綺麗な街並み、定期開催イベント、 夜は飲み歩ける街を定着！

1月	フリーマーケット
2月	インラインスケート
3月	ファッションショー/クロージングスワップ
4月	ウォールアート/ Mural
5月	ゴールデンウィーク(子供向けのタレントショー／ダンス)
6月	International Music Festival
7月	International Food festival
8月	ラップショー
9月	スケボー/BMX
10月	ハロウィン/trick or treat/ コスプレ
11月	アーバンスポーツ
12月	クリスマス/イルミネーション

1年間の活動の総括・成果について

「地域内コミュニケーションの重要性」「ターゲットの年齢層によるメディアの使い分け」を主テーマに、『岡山市ハレまち通りの活性化～若者への周知とSDGsイベントの実施～』をハレまち通り情報発信戦略として「岡山商工会議所 まちづくり・都市交通委員会」（2023年2月28日）にて提言しました。

担当教員：宮脇靖典、横山ひとみ、渡辺圭史
所属学生 19名；ポスター制作 小野田晶保、佐藤龍王、都築香音、Pramudi、見手倉佳紘、森下尚輝

おかやまの未来について大学生世代の声を形にしていくラボ
～岡山に住んでもらうための岡山城・後楽園地域の活性化案～

お世話になった連携先団体など

- 協同組合岡山情報文化研究所（ビザビグループ）伊藤博則様
- 山陽学園大学地域マネジメント学科准教授　神田將志様
- 岡山商工会議所
- 岡山県高梁市総務部長　北畑太一様

ラボで解決に取り組んだ課題（問題と仮説の設定）

・岡山市民は歴史や文化に興味を持っているのか

・岡山市民は市内の歴史・文化的な場所に訪れているのか

・歴史・文化的な場所をどのように生かすことができるか

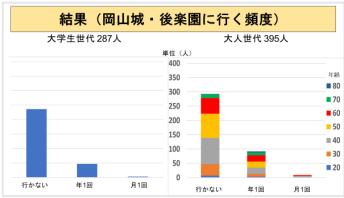
活動のあらましについて

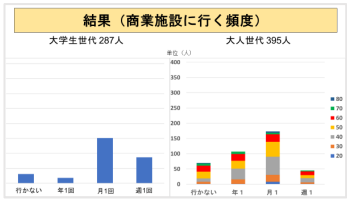
＜行った取り組み＞

問題と仮説の設定 → 調査結果、分析 → アイデア → 提案

（問題と仮説の設定）
・岡山商工会議所が発行しているまちづくり提言書を基におかやまの問題点を設定

（調査結果、分析）
アンケート
・大学生世代　岡山理科大学経営学部　Google Forms　287人
・大人世代　Vinsight　395人





（アイデア）
・ニーズの少ない「**歴史的・文化的**」な場所　に、　ニーズの多い「**商業施設**」を増やす。

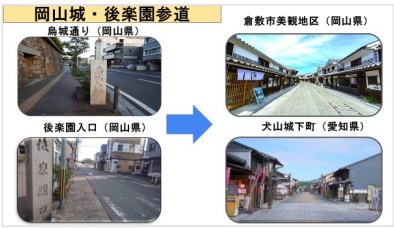
（提案）
・岡山商工会議所でアイデアを提案

1年間の活動の総括・成果について

＜岡山商工会議所での発表＞

・後楽園までの参道計画

・岡山城本丸再建計画



担当教員：宮脇靖典、渡辺圭史、横山ひとみ
所属学生：19名
ポスター制作：安倉俊輔、田内蓮一郎、岸川稲也、細見珠可、河部優希、花房千景、湯浅廉